

II 農場運営

1 総務事項

1) 人事異動

2017. 4. 1 異動
川口 昭二：唐湊果樹園再雇用職員（前唐湊果樹園技術専門職員）
2017. 4. 17 採用
クアシ グエサン ルシエン：学内農場農事部 技能補佐員（濱田技術専門職員の産休代替）
2017. 8. 20 クアシ グエサン ルシエン：学内農場農事部 技術職員（濱田技術専門職員の育休代替）
2017. 9. 30 異動（転出）
山下 聖二：動物病院事務係長（前農場事務係長）
2017. 10. 1 異動（転入）
宇都山清孝：農場事務係長（前動物病院事務係長）

2) 技術職員研修

(1) 伐木等業務（チェーンソー等）特別教育講習

- 時 期：平成29年4月21日～22日
場 所：鹿児島県銘木市場協同組合，周辺山林
研修者：入来牧場 飯盛葵技術職員，柳田大輝技術職員，唐湊果樹園 西澤優技術職員

(2) 刈払機取扱作業安全教育講習

- 時 期：平成29年4月23日
場 所：鹿児島県銘木市場協同組合，周辺草地
研修者：入来牧場 飯盛葵技術職員，柳田大輝技術職員，唐湊果樹園 西澤優技術職員

(3) 第62回冬季検査委員（支部審査委員）認定講習会

- 時 期：平成29年11月20日～22日
場 所：始良中央家畜市場研修室
研修者：入来牧場 石井大介技術職員

(4) 車両系建設機械（聖地・運搬・積込み用および掘削用）運転技能講習

- 時 期：平成30年1月22日～26日
場 所：鹿児島教習所
研修者：入来牧場 石井大介技術職員

(5) 2017年度信州大学実験・実習技術研究会

- 時 期：平成30年2月28日～3月2日
場 所：信州大学長野キャンパス
研修者：入来牧場 富永輝技術専門職員，指宿植物試験場 田浦一成技術職員

3) 農場施設の利用

農場では、学外・内を問わず広く施設の利用を受け入れている。

(1) 学外

(学内農場農事部)

- ・鹿児島大学教育学部附属小学校
時期：平成29年4月12日～19日 160名
内容：田んぼや畑にいる生き物とふれ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気づき、季節感を養う
- ・鹿児島市立荒田小学校
時期：平成29年4月28日 72名
内容：小学校生活科「春をさがそう」で、春の草花や昆虫など実際に触れながら観察をする
- ・認定こども園めぐみ幼稚園
時期：平成29年5月9日 77名
内容：幼児の体験活動のため（イモの苗の植え方を知る・土の感触を味わう・自然の中でのびのびと遊ぶ）

Ⅱ 農場運営

- ・鹿児島市立甲南中学校
時期：平成29年5月23日～25日 4名
内容：職場体験学習
- ・鹿児島大学教育学部附属小学校
時期：平成29年6月5日～30日 160名
内容：2年生生活科「さんぼ」農場見学。田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気づき、季節感を養う
- ・鹿児島市立八幡小学校
時期：平成29年6月29日 125名
内容：総合的な学習の時間に田植え体験や観察を通して、農作物に関心を持ち、今後の調べ学習のテーマ設定に役立てる
- ・鹿児島市立荒田小学校
時期：平成29年6月28日 72名
内容：小学校理科（3年）で、身の回りの昆虫を見つけ、体のつくりや育ち方、すみかや食べ物を調べるための、昆虫採集
- ・鹿児島市立荒田小学校
時期：平成29年7月14日 72名
内容：小学1年生生活科で、「くさばなやむしをさがそう」という、夏の草花や昆虫に実際に触れながら観察をする
- ・国分中央高校
時期：平成29年7月25日 10名
内容：施設見学
- ・鹿児島大学教育学部附属小学校
時期：平成29年8月28日～31日 35名
内容：2年生生活科「さんぼ」農場見学。田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気づき、季節感を養う
- ・鹿児島市立八幡小学校
時期：平成29年9月14日～15日 126名
内容：総合的な学習の時間で、稲の観察を通して、農作物の成長の様子を知り、携わってくださる方々へ感謝の気持ちを持つ。稲の成長の様子を記録し、さらに関心を持ったことを調べる
- ・鹿児島市立八幡小学校
時期：平成29年9月29日 126名
内容：総合的な学習の時間で、稲の観察を通し、農作物の成長の様子を知り、携わってくださる方々へ感謝の気持ちを持つ。稲の成長の様子を記録し、さらに関心を持ったことを調べる
- ・鹿児島大学教育学部附属小学校
時期：平成29年10月16日～27日 155名
内容：田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気づき、季節感を養う
- ・認定こども園めぐみ幼稚園
時期：平成29年10月18日 78名
内容：幼児の体験活動のため、秋の実りを知り、いもほりを体験する。土の感触を味わい、秋の自然の中で遊びと遊ぶ
- ・鹿児島大学教育学部附属中学校
時期：平成29年10月30日～31日 4名
内容：職場体験学習
- ・鹿児島市立八幡小学校
時期：平成29年11月13日 126名
内容：総合的な学習の時間に稲の観察や稲刈りの体験を通して農作物の成長の様子を知り、携わってくださる方々へ感謝の気持ちを持つ。稲の成長の様子を記録し、さらに関心を持ったことを調べる
- ・鹿児島市立八幡小学校
時期：平成29年11月27日 126名
内容：総合的な学習の時間に、稲の観察や脱穀体験を通して農作物の成長の様子を知り、携わってくださる方々へ感謝の気持ちを持つ。稲の成長の様子を記録し、さらに関心を持ったことを調べる

- ・鹿児島大学教育学部附属小学校
時期：平成30年1月15日～31日 155名
内容：田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気づき、季節感を養う
- ・鹿児島大学教育学部附属小学校
時期：平成30年3月9日～22日 155名
内容：田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気づき、季節感を養う

(唐湊果樹園)

- ・連合農学研究科（佐賀大，琉球大，鹿大農学部・水産学部）
時期：平成29年8月7日 4名
内容：栽培施設の見学
- ・鹿児島大学教育学部附属中学校
時期：平成29年10月30日～31日 4名
内容：職場体験学習
- ・鹿児島大学教育学部附属幼稚園
時期：平成29年11月21日 77名
内容：みかん狩り体験を通して、収穫の喜びを味わったり、草花や虫と触れ合ったりして秋の自然に親しむ
- ・認定こども園 紫原幼稚園
時期：平成29年12月5日 77名
内容：園外保育での果樹園の見学
- ・済州島農業技術院亜熱帯果樹担当者
時期：平成29年12月18日 3名
内容：唐湊果樹園の亜熱帯果樹の見学

(指宿植物試験場)

- ・指宿熱帯果樹研究会
時期：平成29年4月11日 10名
内容：地域貢献の一環として、農家などにアドバイスを行っている指宿熱帯果樹研究会の意見交換会および試験場内の視察
- ・指宿熱帯果実振興会
時期：平成29年6月17日 10名
内容：地域貢献の一環として、農家などにアドバイスを行っている指宿熱帯果実振興会による試験場内視察と意見交換
- ・鹿児島県立農業大学校農学部果樹科
時期：平成29年7月20日 7名
内容：視察研修を行うことにより、多様な熱帯、亜熱帯果樹の品種特性、栽培管理技術、大学での研究先進技術について習得する。さらに、指宿地域における果樹の生育状況について習得する
- ・指宿熱帯果実振興会
時期：平成29年9月16日 10名
内容：地域貢献の一環として、農家などにアドバイスを行っている指宿熱帯果実振興会による試験場内視察と意見交換を行う
- ・一般市民
時期：平成29年9月11日 4名
内容：アボガドの栽培の技術、繁殖及びスターフルーツの鉢栽培の技術習得のため。特にアボガドの接ぎ木、二段接ぎ木のコツ
- ・指宿熱帯果樹研究会
時期：平成29年11月15日 10名
内容：地域貢献の一環として協力している指宿熱帯果樹研究会による視察と現地検討会を開催するため
- ・雲南農業大学
時期：平成29年12月7日 15名
内容：グローバル人材育成（雲南）研修のため

Ⅱ 農場運営

- ・福岡教育大学・長崎大学・鹿児島大学生物育成合同ゼミ
時期：平成29年12月9日～10日 22名
内容：第五回福岡教育大学・長崎大学・鹿児島大学生物育成合同ゼミ～生物育成教材研究セミナーへの開催と熱帯性（暖地型）植物の教材利用に関する検討。施設見学
- ・済州島農業技術院亜熱帯果樹担当者
時期：平成29年12月18日 3名
内容：指宿植物試験場の亜熱帯果樹の見学
- ・ニチレイフーズ
時期：平成30年1月23日～24日 5名
内容：アセロラ栽培に関する共同研究の現地視察及び研究計画検討
- ・沖縄県北部農林水産振興センター農業改良普及課
時期：平成30年3月8日 4名
内容：温泉熱を利用した加温ハウスでの熱帯果樹研究について視察
- ・指宿熱帯果実振興会
時期：平成30年3月17日 10名
内容：地域貢献の一環として、農家などにアドバイスを行っている指宿熱帯果実振興会による試験場内視察と意見交換を行う。

（入来牧場）

- ・日本友愛協会
時期：平成29年6月2日 4名
内容：日本友愛協会が受け入れたミャンマー人研修生による施設見学
- ・西伊敷ソフトボール少年団
時期：平成29年7月16日 31名
内容：牧場見学および食育体験
- ・一般市民
時期：平成29年8月4日 10名
内容：入来牧場の見学
- ・日東電工株式会社
時期：平成29年8月8日 6名
内容：牧場内視察
- ・ノガミ産業
時期：平成29年10月3日 2名
内容：ブタ飼育場の視察
- ・桜ヶ丘七桜会
時期：平成29年11月6日 25名
内容：牧場見学
- ・鹿児島県森林組合連合会
時期：平成30年1月19日 2名
内容：牧場隣接地の薩摩川内市有林（森林整備公社分収林）での植栽工事着工前のUAV写真撮影および、同市有林（分収林以外）での災害地の森林保険業務に係るUAV測量のための撮影
- ・山梨県立韮崎高校
時期：平成30年1月31日 40名
内容：入来牧場内に設置されている鹿児島大学1m光赤外線望遠鏡施設見学

（2）学内

（学内農場）

平成29年度

- | | |
|-------|--|
| 4月13日 | 作物生産学講座3年生の研究室振り分けに関するオリエンテーション（23名） |
| 4月14日 | 大学院科目「害中学特論」の講義（24名） |
| 4月18日 | 作物生産学講座3年生の研究室分けに関する2回目のオリエンテーション（24名） |
| 4月20日 | 農業土木学実験において畑地における水の浸透試験の実施（15名） |
| 6月16日 | 工学部情報生体システム工学科生の卒業研究で使用するピーマンの画像撮影（2名） |

- 7月7日 機械学習を用いた作物の病害・成長識別に関する研究（5名）
 7月20日 共通教育科目「国際協力体験講座」事前打ち合わせおよび現地での演目練習（4名）
 (動物飼育棟(学内畜産部))
 該当無し
- (唐湊果樹園)
- 5月26日 樹木学実習の実施及びその準備作業として樹木の観察及び腊葉標本にするための枝葉の採取を実施（15名）
 6月2日 樹木学実習の実施及びその準備作業として樹木の観察及び腊葉標本にするための枝葉の採取を実施（15名）
 6月9日 樹木学実習の準備作業として樹木の観察及び腊葉標本にするための枝葉の採取を実施（3名）
 7月21日 樹木学実習の準備作業として樹木の観察及び腊葉標本にするための枝葉の採取を実施（3名）
 7月28日 樹木学実習の準備作業として樹木の観察及び腊葉標本にするための枝葉の採取を実施（3名）
 2月6日 果樹剪定枝技術講習（3名）
- (指宿植物試験場)
- 4月29日～30日 遺伝資源保存用のヤマイモ・ウコンの定植（13名）
 5月23日 遺伝資源保存用のヤマイモの支柱立てと除草作業（9名）
 7月4日 遺伝資源保存用ヤマイモの除草作業（5名）
 7月13日 ケナフの定植および管理作業（3名）
 7月12日～12月20日 教育学部の教育研究で使用するクワの挿し木増殖（2名）
 8月9日 ケナフの管理作業（1名）
 8月25日 カンゾウの挿し木実験（2名）
 8月31日 ケナフの管理作業（1名）
 10月15日 ケナフの管理作業（1名）
 11月21日 修士・卒業論文のため：ヤマイモおよびウコン収穫の準備（3名）
 11月25日～26日 ヤマイモおよびウコン収穫・調査（14名）
 2月18日 長命草の定植，ケナフの収穫（1名）
 3月25日 長命草の管理，ケナフ栽培の準備（1名）
 3月25日 遺伝資源保存用のヤマイモ消毒と圃場準備（11名）
- (入来牧場)
- 4月1日 修論研究のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査（1名）
 4月2日，3日，5日 修論研究のためのシカの飼養管理（1名）
 4月6日 修論研究のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査（1名）
 9区に設置している柵の撤去作業（8名）
 4月7日 修論研究のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査（1名）
 4月8日 修論研究のためのシカの飼養管理（1名）
 4月8日，9日 卒論研究のための飼養管理（3名）
 4月10日 修論研究のためのシカの飼養管理（1名）
 4月11日 修論研究のためのシカの飼養管理，早朝シカ確認調査（1名）
 入来牧場内に設置されている鹿児島大学1m光赤外線望遠鏡施設へ，鹿児島大学理学部物理科学科新入生オリエンテーションの一環として，学生および指導教員が施設の見学を行うため（51名）
 4月12日，13日 修論研究のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査（1名）
 4月14日 修論研究のためのシカの飼養管理，及びライトセンサス（4名）
 卒論研究のための飼養管理（3名）
 4月15日 修論研究のためのシカの飼養管理（1名）
 卒論研究のための飼養管理（3名）
 4月16日 卒論研究のための飼養管理（3名）
 4月17日 修論研究のためのシカの飼養管理（1名）
 卒論研究のための飼養管理（3名）
 4月18日～21日 修論研究のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査，早朝シカ調査（1名）
 卒論研究のための飼養管理（1名）
 4月21日 シカに関する調査（ドローンの夜間飛行）（1名）

Ⅱ 農場運営

4月22日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名）
4月24日～25日	修論研究のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査（1名） 卒論研究のための飼養管理（1名）
4月26日～27日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
4月27日	2017年度卒論研究の実施に関する打合せ（6名）
4月28日	修論研究のためのシカの飼養管理，早朝シカ確認調査（1名） 卒論研究のための飼養管理（1名）
4月29日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
4月30日～5月1日	修論研究のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
5月1日	修論研究のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
5月2日～4日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
5月5日	卒論研究のための飼養管理（2名）
5月6日，7日	修論研究のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査（1名） 卒論研究のための飼養管理（2名）
5月8日～9日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（1名）
5月10日	修論研究のためのシカの飼養管理，早朝シカ確認調査（1名） 卒論研究のための飼養管理（1名）
5月11日	修論研究のためのシカの飼養管理，ライトセンサス（4名） 卒論研究のための飼養管理（3名） 研究協定（牧場における野生シカの侵入防止に関する研究）に関するニホンジカ用箱罟の撤去（2名） シカの侵入状況の調査（5名）
5月12日	修論研究のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査（1名） 卒論研究のための飼養管理（1名）
5月13日	修論研究のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査（1名）
5月14日～16日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
5月17日	修論研究のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査，早朝シカ調査（1名） 卒論研究のための飼養管理（1名）
5月18日	実験材料運搬（1名）
5月18日～22日	修論研究のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
5月23日～24日	修論研究のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査，ライトセンサス（1名） 卒論研究のための飼養管理（1名） 牧草地におけるシカ害防除に関する調査（1名） 9区整備（15名）
5月25日	修論研究のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名） 肥育牛の第一胃内性状調査および実験材料運搬（6名）
5月26日	修論研究のためのシカの飼養管理，早朝シカ確認調査（1名） 卒論研究のための飼養管理（1名）
5月27日～29日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（2名）
5月30日	修論研究のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
5月31日	修論研究のためのシカの飼養管理，電気柵への行動反応調査，シカ罟設置（2名）

	卒論研究のための飼養管理 (1名)
6月1日	修論研究のためのシカの飼養管理, シカ罾見回り (2名) 卒論研究のための飼養管理 (4名)
6月2日~6日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
6月7日, 8日	卒論研究のための飼養管理 (4名)
6月8日	修論研究のためのシカの飼養管理, ライトセンサス (4名) 草地カメラ設置 (1名)
6月9日	修論研究のためのシカの飼養管理, 早朝シカ調査 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
6月10日~13日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
6月14日	修論研究のための飼養管理, 飼育シカ試験, シカ罾確認 (2名) 卒論研究のための飼養管理, 行動調査 (3名) 豚の行動管理に関する調査 (1名) 草地カメラチェック (1名)
6月15日	修論研究のためのシカの飼養管理, シカ罾確認 (1名) 卒論研究のための飼養管理, 放牧山羊衛生管理 (4名)
6月16日	修論研究のためのシカの飼養管理, 早朝シカ調査 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
6月17日, 18日	卒論研究のための飼養管理 (1名)
6月19日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (2名)
6月20日	修論研究のためのシカの飼養管理, 飼育シカ試験, シカ罾確認 (2名) 卒論研究のための飼養管理 (4名) 草地カメラチェック (1名)
6月21日~23日	修論研究のためのシカの飼養管理, 飼育シカ試験 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (4名)
6月24日, 25日	卒論研究のための飼養管理 (2名)
6月26日, 27日	修論研究のためのシカの飼養管理, シカ罾確認 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
6月28日	卒論研究のための飼養管理 (3名)
6月29日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
6月30日	修論研究のためのシカの飼養管理, 早朝調査 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
7月1日~5日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
7月6日	山羊放牧地管理 (6名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
7月7日	修論研究 (飼育シカに関する調査) のためのシカの飼養管理, ライトセンサス (4名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
7月8日	修論研究 (飼育シカに関する調査) のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
7月10日	肉用牛の飼養管理に関する研修および施設見学 (1名)
7月9日~14日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
7月15日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (2名)
7月16日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
7月17日, 18日	修論研究のためのシカの飼養管理, 飼育シカ試験 (4名)

Ⅱ 農場運営

7月19日	卒論研究のための飼養管理（3名） 修論研究のためのシカの飼養管理，ライトセンサス（3名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
7月20日	卒論研究のための飼養管理（3名） 放牧山羊の衛生管理に関する調査（5名）
7月21日，22日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
7月23日，24日	修論研究のためのシカの飼養管理，飼育シカ試験（4名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
7月25日，26日	修論研究のためのシカの飼養管理，データ回収（3名） 卒論研究のための飼養管理，行動調査（4名）
7月27日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理，ローダー研修（8名）
7月28日	卒論研究のための飼養管理（3名）
7月29日～31日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
8月1日	卒論研究のための飼養管理（3名） 草地カメラチェック（1名）
8月2日	卒論研究のための飼養管理，牛の餌おろし（4名）
8月3日	卒論研究のための飼養管理（3名）
8月4日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
8月5日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（2名） 入来牧場内に設置されている，国立天文台VERA入来観測局および，1m光赤外線望遠鏡をオープンキャンパスの一環として，見学を行うため（40名）
8月6日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
8月7日	卒論研究のための飼養管理（3名）
8月8日	修論研究のためのライトセンサス（4名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
8月9日	修論研究（飼育シカに関する調査）のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名） 放牧山羊の衛生管理に関する調査（5名） 草地カメラチェック（1名）
8月10日，11日	卒論研究のための飼養管理（3名）
8月12日	修論研究のためのシカの飼養管理，早朝調査（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
8月13日	卒論研究のための飼養管理（3名）
8月14日～16日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
8月17日	修論研究のためのシカの飼養管理，罟設置，ライトセンサス（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名） 草地カメラチェック（1名）
8月18日	修論研究のためのシカの罟チェック（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
8月19日	修論研究のためのシカの飼養管理，罟チェック（1名） 卒論研究のための飼養管理（2名） 入来牧場内に設置されている，国立天文台VERA入来観測局および，1m光赤外線望遠鏡をオープンキャンパスの一環として見学するため（40名）
8月20日～24日	修論研究のためのシカの飼養管理，罟チェック（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）

8月22日	草地カメラチェック (1名)
8月25日	卒論研究のための飼養管理 (3名)
8月26日～28日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
8月29日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名) 放牧山羊衛生管理 (8名) 草地カメラチェック (1名)
8月30日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
8月31日	卒論研究のための飼養管理 (3名)
9月1日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 9区草料調査 (7名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
9月2日～5日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
9月6日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理, 行動調査 (3名) 草地カメラチェック (1名)
9月7日, 8日	修論研究のためのシカの飼養管理, ライトセンサス (3名) 卒論研究のための飼養管理 (2名)
9月9日～11日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
9月12日, 13日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理, 24時間行動観察 (6名)
9月14日, 15日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (1名)
9月16日～18日	卒論研究のための飼養管理 (3名)
9月19日～21日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (1名)
9月22日, 23日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理, 行動調査 (3名)
9月22日	竹粉サイレージを給与した肥育牛のルーメン内性状に関する調査 (1名)
9月24日	卒論研究のための飼養管理 (3名)
9月25日, 26日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
9月27日	卒論研究のための飼養管理 (3名) 草地カメラチェック (1名)
9月28日～30日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
10月1日～3日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
10月3日	草地カメラチェック (1名)
10月4日	卒論研究のための飼養管理, 試験牛採血 (2名)
10月5日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理, 24時間行動調査 (8名)
10月6日	修論研究のためのシカの飼養管理, ライトセンサス (4名) 卒論研究のための飼養管理, 24時間行動調査 (8名)
10月7日, 8日	修論研究のためのシカの飼養管理 (1名) 卒論研究のための飼養管理 (3名)
10月9日	卒論研究のための飼養管理 (3名)
10月10日	口之島野生化牛の体格に関する調査 (1名)

Ⅱ 農場運営

10月10日～14日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
10月15日	卒論研究のための飼養管理（2名）
10月16日～17日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
10月17日	草地カメラチェック（1名）
10月18日，19日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理，行動調査（6名）
10月20日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
10月21日，22日	飼養管理（1名）
10月23日～26日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
10月24日	草地カメラチェック（1名）
10月26日	肥育牛の第一胃内溶液性状ならびに山羊の衛生管理に関する調査（8名）
10月27日	卒論研究のための飼養管理（1名）
10月28日，29日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
10月30日，31日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（1名）
10月31日	草地カメラチェック（1名）
11月1日～3日	卒論研究のための飼養管理（3名）
11月4日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
11月5日，6日	卒論研究のための飼養管理（3名）
11月7日	修論研究のためのライトセンサス（3名） 草地カメラチェック（1名） 入来牧場内に設置されている，国立天文台VERA入来観測局へ，理学部物理科学科3年授業「天体観測実習」の一環として，受講登録学生および引率教員とで，鹿児島大学1m光赤外線望遠鏡施設の見学を行うため（30名）
11月7日～9日	卒論研究のための飼養管理（3名）
11月10日	修論研究のためのシカの早朝調査（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
11月11日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
11月12日	卒論研究のための飼養管理（1名）
11月14日	卒論研究のための飼養管理，体重・体尺測定（3名） 草地カメラチェック（1名）
11月15日	修論研究のためのシカの飼養管理，早朝調査（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
11月16日，17日	卒論研究のための飼養管理（3名）
11月18日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
11月19日，20日	卒論研究のための飼養管理（3名）
11月21日	卒論研究のための飼養管理，および行動調査（6名） 草地カメラチェック（1名）
11月22日	修論研究のためのシカの早朝調査（1名） 卒論研究のための飼養管理，および行動調査（6名）
11月23日，24日	卒論研究のための飼養管理（3名）
11月25日	修論研究のためのシカの飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
11月26日，27日	卒論研究のための飼養管理（3名）

11月28日	卒論研究のための飼養管理（3名） 肥育牛の第一胃内溶液性状に関する調査（4名） 草地カメラチェック（1名）
11月29日, 30日	卒論研究のための飼養管理（3名）
11月29日	黒毛和種の鼻腔粘膜試料のサンプリング（2名）
12月1日	卒論研究のための飼養管理（2名）
12月2日	修論研究のための飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（4名）
12月3日, 4日	卒論研究のための飼養管理（3名）
12月5日	卒論研究のための飼養管理（3名） 草地カメラチェック（1名）
12月6日～11日	卒論研究のための飼養管理（3名）
12月12日	修論研究のための飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理, 行動調査（6名） 草地カメラチェック（1名）
12月13日	修論研究のための飼養管理, ライトセンサス（4名） 卒論研究のための飼養管理, 行動調査（6名）
12月14日～18日	卒論研究のための飼養管理（3名）
12月14日	肥育牛の第一胃内溶液性状に関する調査（1名）
12月19日	修論研究のための飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名） 草地カメラチェック（1名） 理工学研究科地域コト作りセンター所管の「鹿兒島ハイブリッドロケット研究会」にて, 研究テーマとしてパラシュートの自動解放の確認試験他を行う（15名）
12月20日～25日	卒論研究のための飼養管理（3名）
12月26日	修論研究のための飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名） 草地カメラチェック（1名）
12月27日	卒論研究のための飼養管理（3名）
12月28日～1月4日	卒論研究のための飼養管理（1名）
1月5日	卒論研究のための飼養管理（3名） 草地カメラチェック（1名）
1月6日	修論研究のための飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
1月7日, 8日	卒論研究のための飼養管理（3名）
1月9日	修論研究のための飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名） 草地カメラチェック（1名）
1月10日～12日	卒論研究のための飼養管理（3名）
1月13日	修論研究のための飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（3名）
1月14日, 15日	卒論研究のための飼養管理（3名）
1月16日	修論研究のためのライトセンサス（4名） 卒論研究のための飼養管理（1名） 草地カメラチェック（1名）
1月17日	卒論研究のための飼養管理（3名）
1月18日, 19日	卒論研究のための飼養管理, 行動調査（6名）
1月20日	修論研究のための飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（1名）
1月21日, 22日	卒論研究のための飼養管理（2名）
1月23日	卒論研究のための飼養管理（3名） 草地カメラチェック（1名）

Ⅱ 農場運営

	肥育牛の第一胃内溶液性状に関する調査（1名）
1月24日～26日	卒論研究のための飼養管理（3名）
1月27日	修論研究のための飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（1名）
1月28日，29日	卒論研究のための飼養管理（2名）
1月30日	卒論研究のための飼養管理（1名） 草地カメラチェック（1名）
1月31日	卒論研究のための飼養管理（1名）
2月2日	卒論研究のための飼養管理（1名）
2月3日	修論研究のための飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（1名）
2月4日，5日	卒論研究のための飼養管理（2名）
2月6日	修論研究のためのライトセンサス（3名） 草地カメラチェック（1名）
2月7日，8日	卒論研究のための飼養管理（1名）
2月10日	修論研究のための飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（1名）
2月12日	卒論研究のための飼養管理（2名）
2月13日	卒論研究のための飼養管理（2名） 草地カメラチェック（1名）
2月15日	卒論研究のための飼養管理（2名）
2月17日	修論研究のための飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（1名）
2月18日，19日	卒論研究のための飼養管理（1名）
2月20日	卒論研究のための飼養管理，試験牛体重・体尺測定（4名） 草地カメラチェック（1名）
2月21日～23日	卒論研究のための飼養管理（1名）
2月24日	修論研究のための飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（1名）
2月25日，26日	卒論研究のための飼養管理（1名）
2月27日	卒論研究のための飼養管理（1名） 草地カメラチェック（1名）
2月28日	卒論研究のための飼養管理（2名）
3月1日～5日	卒論研究のための飼養管理（1名）
3月6日	修論研究のための飼養管理，ライトセンサス（4名） 卒論研究のための飼養管理（2名） 草地カメラチェック（1名）
3月7日～11日	卒論研究のための飼養管理（2名）
3月12日	卒論研究のための飼養管理（2名） 草地カメラチェック（1名） 共同研究成果報告会（21名）
3月13日	修論研究のための飼養管理（1名） 卒論研究のための飼養管理（2名）
3月14日，15日	卒論研究のための飼養管理（2名）
3月15日	草地カメラチェック（1名）
3月16日～19日	卒論研究のための飼養管理（1名）
3月20日	修論研究のための飼養管理（1名）
3月26日	卒論研究のための飼養管理（2名）

4) 刊行物

鹿児島大学農学部農場年報，第12号（2018.3）（2015年度から印刷物を廃止し，Webでの配信のみとした）
鹿児島大学農学部農場研究報告，第39号（2018.3）

5) 行事

4月1日	展示即売会
6月9日	入来牧場牧神祭
7月14日	学内農場農事部お田植え祭
9月15日	指宿植物試験場熱帯果樹観葉祭
11月17日	唐湊果樹園収穫祭

6) 平成29年度全国大学附属農場協議会

(1) 春季協議会

日 時：平成29年5月11日～12日
場 所：学士会館（東京都）
参加者：津田農場長

(2) 秋季協議会

日 時：平成29年9月21日～22日
場 所：ホテルグランデはがくれ（佐賀市）
参加者：津田農場長，松元技術専門職員，福留技術専門職員

(3) 九州地域協議会及び技術職員教育・研究発表会

日 時：平成29年8月29日～30日
場 所：沖縄県市町村自治会館（那覇市）
参加者：朴主任，大島主任，勘米良技術職員，石井技術職員，飯盛技術職員，山下事務係長

2 会計事項

1) 予算および決算

平成29年度の農場予算および決算は，第6表のとおりである。予算額97,807,000円に対し，決算額97,533,000円で，274,000円の残余额が生じ，翌年度に繰り越した。

第6表 平成29年度予算および決算

(単位：円)

施設名	当初配分額	追加配分額 および振替額	予算額	決算額	差引過不足額
農場実習経費	0	0	0	0	0
農場実習支援経費	42,345,000	257,000	42,602,000	42,487,000	115,000
農場運営経費	45,736,000	9,469,000	55,205,000	55,047,000	158,000
主事	0	0	0	0	0
植物部門主任	0	0	0	0	0
動物部門主任	0	0	0	0	0
合 計	88,081,000	9,726,000	97,807,000	97,533,000	274,000

2) 機械，設備および備品

今年度は，機械，備品への予算の充当はなかった。

第7表 平成29年度機械設備等の整備（50万円以上 予算：自己収入）

機械設備名	メーカー・規格	数量	金額（円）	施設名
該当無し				
合 計				

3) 施設整備

(1) 学内農場農事部

数年前より，作物生産に配慮した輪作体系を組み，田畑輪換も含めた作付け体系を実施している。しかし，元来が排水不良地であるため，畑作時における，湿害の発生がみられた。そこで，平成19年度の実習教育改善経費により，排水不良の2圃場（10号：約800㎡と，11号：約1,570㎡）に暗渠排水を敷設した。

(2) 唐湊果樹園

果樹園は敷地境界をフェンスを設置しているが、老朽化している箇所がみられることから、更新が必要である。また、敷地境界では、ゴミの投げ込みもみられることから対策もあわせて必要となる。

(3) 指宿植物試験場

ここ数年、施設の加温に利用している温泉量が減少傾向にあるため、一部の温室やハウスでは、従来の温度確保がむずかしくなってきた。一時的な現象かどうかを見極める必要があるが、平成20年度に導入された「省エネルギー型生産技術開発システム」に利用する温泉量も減少しており、今後、湯量の確保に向けた方策が必要になる。

今年度は、去年の台風16号により一部倒壊したフェンスと老朽化しているフェンスを更新した。

(4) 入来牧場

入来牧場管理棟は、竣工(1968)後、49年を経過し、壁面の亀裂、雨漏りなど、老朽化が著しい。平成20年度には、平成19年度から繰り越した農場経費と大学本部経費により、女性用トイレと風呂の新設および職員室の改修を行ったものの、入来牧場管理棟2階部分(宿泊室、講義室)、1階部分(男子トイレ、風呂、食堂)および外壁の改修が課題として残っていた。平成29年度概算要求により、平成30年度の入来牧場管理棟全面改修工事が決定した。一方で、現場の畜舎に関しては管理棟同様竣工後48年を経過しているものの、改修の目的が立っていない。学生教職員の安全確保の観点からも、現場畜舎の概算要求による改修が望まれる。

(5) 学内農場畜産部

動物飼育棟は築35年を経過し、雨漏りが頻発していたため、これまで部分的な補修を繰り返してきた。しかし、部分的な補修では改善が見られないことから、平成23年度末に附属演習林から予算借入れを行い、屋根の全面補修を行った。その結果、雨漏りは止まったものの、建物本体の劣化および排水などの問題は依然として残ったままである。

3 各種会議および委員会

農学部は平成28年度(2016年度)に改組を行い新体制がスタートした。改組は学年進行であるが新組織に適應させるよう本農場の各種会議および委員会の構成員も変更を行った。

1) 農場会議

(1) 委員名簿(任期2年 2016年4月1日~2018年3月31日)

農場長(議長)	津田 勝男
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
応用植物科学コース	志水 勝好
応用植物科学コース	山本 雅史
応用植物科学コース	坂巻 祥孝
畜産科学コース	中西 良孝
食料農業経済学コース	豊 智行
食料生命科学科	池永 誠
農林環境科学科	岩崎 浩一
総務課長	鮎川 秋徳

(2) 会議記録

第1回:平成29年8月23日(水)13時00分~13時40分

- 議題
1. 平成28年度附属農場決算(案)について
 2. 平成29年度附属農場予算(案)について
 3. 平成29年度後期農場実習(案)について
 4. 平成30年度前期農場実習Ⅱの実習プログラムについて
 5. 兼任教員の選考について
 6. 平成29年度後期施設等利用計画(案)について
 7. その他

第2回：平成30年3月16日（金）16時10分～16時40分

- 議題 1. 平成30年度前期農場実習（案）について
2. 平成30年度前期施設等利用計画（案）について
3. その他

2) 農場運営委員会

(1) 委員名簿（任期2年 2016年4月1日～2018年3月31日）

農場長（委員長）	津田 勝男
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
兼任教員	下田代智英
兼任教員	清水 圭一
兼任教員	高山 耕二
農事部技術総括	野村 哲也
唐湊果樹園技術総括	福留 弘康
指宿植物試験場技術総括	谷村 音樹
入来牧場技術総括	片平 清美
総務課長代理	立和名幸洋
農場事務係長	山下 聖二（宇都山清孝2017.10.1～）

(2) 委員会記録

第1回：平成29年8月8日（火）13時00分～13時50分

- 議題 1. 平成28年度附属農場決算（案）について
2. 平成29年度附属農場予算（案）について
3. その他

第2回：平成30年3月16日（金）13時05分～13時25分

- 議題 1. 全国大学附属農場協議会九州地域協議会及び技術職員教育・研究発表会（鹿児島大学当番）について
2. その他

3) 農場実習教育委員会

(1) 委員名簿

農場長（委員長）	津田 勝男
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
農業生産科学科	
応用植物科学コース	下田代智英
〃	坂上 潤一
〃	角 明夫
〃	一谷 勝之
〃	志水 勝好
〃	山本 雅史
〃	香西 直子（2017.7.1～）
〃	吉田理一郎
〃	橋本 文雄
〃	清水 圭一
〃	坂巻 祥孝
畜産科学コース	大久津昌治
〃	三好 和陸
〃	岡本 新

Ⅱ 農場運営

畜産科学コース	下桐 猛
〃	中西 良孝
〃	高山 耕二
〃	後藤 貴文 (2017. 5. 1～)
〃	大塚 彰 (2018. 1.22～)
〃	井尻 大地 (2018. 1.22～)
食料生命科学科	
食環境制御科学コース	岩井 久
〃	中村 正幸
農林環境科学科	
地域環境システム学コース	岩崎 浩一
〃	末吉 武志
自然科学教育研究支援センター	
遺伝子実験施設	田浦 悟

(2) 委員会記録

第1回：平成29年8月8日(火) 10時30分～11時00分

- 議題 1. 平成29年度後期農場実習(案)について
2. 平成30年度前期農場実習Ⅱの実習プログラムについて
3. その他

第2回：平成30年3月2日(金) 15時00分～15時25分

- 議題 1. 平成30年度前期農場実習Ⅱプログラム(案)について
2. 平成30年度前期集中実習日程(案)について
3. その他

4) 附属農場施設等利用委員会

(1) 委員名簿(任期2年 2016年4月1日～2018年3月31日)

農場主事(委員長)	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
応用植物科学コース	下田代智英
応用植物科学コース	一谷 勝之
応用植物科学コース	清水 圭一
畜産科学コース	高山 耕二
食料生命科学科	樗木 直也
農林環境科学科	岩崎 浩一

(2) 委員会記録

第1回：平成29年8月8日(火) 15時00分～15時15分

- 議題 1. 平成29年度後期施設等利用計画(案)について
2. その他

第2回：平成30年3月2日(金) 14時00分～14時20分

- 議題 1. 平成30年度前期施設等利用計画(案)について

5) 農場研究報告編集委員会

(1) 委員名簿(任期2年 2016年4月1日～2018年3月31日)

応用植物科学コース(園芸系)(委員長)	山本 雅史
農場主事	遠城 道雄
応用植物科学コース(作物系)	下田代智英
畜産科学コース	大久津昌治
食環境制御科学コース	赤木 功

(2) 委員会記録

第1回：平成29年5月1日（月）17時00分～17時20分

- 議題 1. 鹿児島大学農学部農場研究報告原稿の募集について
- 2. その他

第2回：平成29年11月6日（月）17時30分～17時50分

- 議題 1. 農場研究報告第39号受付原稿の査読者の選定について
- 2. その他

6) 農場家畜防疫対策検討委員会

(1) 委員名簿（任期2年 2016年4月1日～2018年3月31日）

農場長（委員長）	津田 勝男
農業生産科学科畜産科学コース	大久津昌治
〃	岡本 新
〃	中西 良孝
〃	井尻 大地
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
入来牧場技術総括	片平 清美
入来牧場管理獣医師	山口 浩

(2) 委員会記録

（委員会の開催なし）

4 入来牧場における牛白血病ウイルス（BLV）清浄化の進捗状況

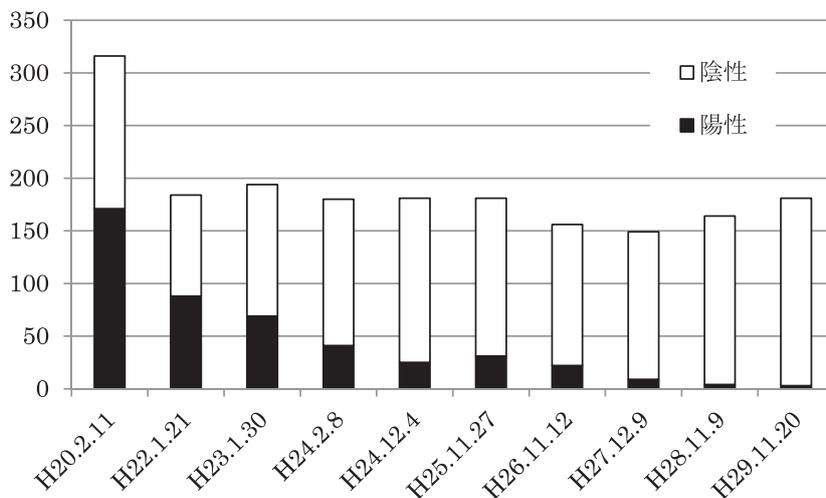


図1 牛白血病ウイルス保有率の推移

平成19年10月、入来牧場における飼養牛のBLV血清抗体価を調査した結果、検査頭数361頭のうち、陽性牛は210頭となり、全体の58%が牛白血病ウイルスに感染していることが判明した。この結果を受け、農場では平成20年1月以降、家畜防疫対策委員会を設置し、入来牧場の牛白血病ウイルス清浄化を、分娩管理および分離飼育の両側面から進めることを決定した。入来牧場では、直ちに清浄化対策を実施し、平成20年5月で陽性率51%、平成20年11月には陽性率は41%、平成23年1月には陽性率36%、平成24年2月には陽性率23%、平成24年12月には陽性率14%と着実に陽性率の低下を実現し、平成19年以降、陽性率は44ポイント低下している。平成25年11月の調査では陽性率17%、平成26年11月の調査では陽性率14%、平成27年12月の調査では陽性率6%、平成28年11月には陽性率2%となり、平成27年度以降で10%を下回る結果となった。直近の平成29年11月における調査では陽性率2%となり、陽性率は横ばい状態で推移している。これらの結果は、継続的な防疫体制維持により平成24年度以降、牛白血病ウイルスを一定数でコントロールできていることを示している。現在、BLV清浄化は最終段階に入っているものの、陽性牛を集めて出荷までの間飼養している肥育牛舎では、水平感染のリスクもあることから、BLVの完全な清浄化には、まだ期間を要するものと考えられる。今後は、陽性が確定された牛を直ちに出荷するとともに、引き続き陰性牛の陽転を観察するため、定期的な血液検査を行っていく予定である。